



平成27年度福岡県地域活動実践型生涯学習事業

始めよう！NAKAMA 地域活動スタートアップ講座

地域みなさんが自ら地域の課題を見つけ、課題解決に向けた活動の計画やそれに基づいた実践活動を勉強してみようというこの講座で、**地域のために何かしたい**という思いを持った皆さんが学びました。



講師：古賀 桃子さん
ふくおかNPOセンター代表

★第1回講座 平成27年8月1日(土)中間市中央公民館
出会おう！話そう！共に出来る事を探ろう！常に身の丈を意識しよう！
受講者18名の出席のもと、開講式を行いました。講師による地域活動の説明、事例紹介の後、受講者の自己紹介や参加動機などを伺いました。参加者はお互いの『やる気』にふれ、今後の活動を楽しみにされていました。
身近な生活場面で感じられる社会問題の課題を解決していく担い手は、行政、企業、そして住民です。その住民目線からの活動のスタートです！

★第2回講座 平成27年9月8日(火)ハピネスなかま
「くらしの中で、気になること！」を一人ずつ発表しました。『人と人との繋がりの場、きっかけがあれば』『空き家が多い』『ゴミが多い』『高齢化が進んでいる』『生活困窮者の支援』など様々な気になることが出てきました。各自の興味・関心ごとを絞り込み、グループ分けを行い、5グループが出来ました。



★第3回講座 平成27年10月17日(土)ハピネスなかま
地域が抱えている課題を共有し、やりたいことに向けて動き出そう！事業計画（誰に対して、何のために、いつ、どこで、どのようなことを行うのか、目標は、経費は）を立てて一人ずつ発表していただきました。その上で、一緒に取り組めそうな方とグループを作り、計画を進める話し合いを行いました。『最終的にこんな状態になりたい』とイメージして計画書を書く練習をしました。

★第4回講座 平成27年11月28日(土)ハピネスなかま



講師の古賀先生に他の地域の事例と関連情報を紹介していただきました。受講者の皆さんの近況報告を聞いた後、グループ別に話し合い、手応え・気がかりなことなど活発な意見交換が行われました。グループは再編され7グループになりました。



★第5回講座 平成28年1月16日(土)ハピネスなかま

受講生の方々の中間報告を伺い、講師による「話し方（プレゼン）のコツ」の講義を受けました。報告会に向けて『プレゼンの心得』『高橋メソッド・もんたメソッド』などを学びました。その後、発表の順番決めを行い、各グループは、リーダーの方を中心に報告会に向けての準備を行いました。

報告会

平成 28 年 3 月 5 日(土)なかもハーモニーホール【小ホール】で、公開型活動報告会を行いました。受講生 12 名(1 名欠席)は、出席者 68 名(ボランティア関係者、行政職員、自治会関係者、一般)の出席者の前で、『気づき・学び・活動』を発表しました。



◆清掃美化ボランティアの会



きれいで美しい中間市を！清掃をして綺麗にするのはもちろん、『清掃をしないで済むまちづくり』を目指して月に 1~2 回、主に通谷電停前広場やハーモニーホール周辺で行っています。1 回の清掃で燃えるゴミ 1~55 袋・ビン缶 1 袋を回収。



講座を終えて：グループができ楽しくなってやる気が出てきた。ご苦労様と言う声が嬉しかった。楽しく続けていきたい。こういう場を作っていただきありがとうございました。

◆優雅にストレッチ

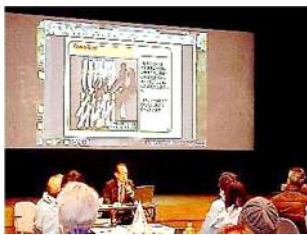
健康維持のためのストレッチ！

月 2 回「ケアハウスゆうあい」で、みなさんと楽し交流しながら指導しています。他の公民館でも活動を広げたいと思っています。
★87 歳の受講者の報告に、出席者一同背筋が伸びました。

「私もまだまだ頑張らねば！」
60 代 70 代のボランティア活動者の意欲向上にも一役買っていました。



◆遠賀川・中島の樹木を竹害から守ろう



遠賀川中島の樹木を竹害から守る為、竹伐採を実施し中島本来の自然を取り戻そう！
伐採した竹で炭を作り、水質浄化や空気の消臭などに活用。

自然観察会や竹の子掘り大会などイベントも実施。
今後は竹炭窯の作成も。

講座を終えて：大変勉強になった。この貴重な学びを大切に、今後の活動に活かしていこうと思う。

◆高齢者や子供の孤立化を防ぐ取り組み

※欠席のため発表なし

孤立した人たち(一人暮らし老人、共働き家庭、ひとり親家庭の子ども)の拠り所・居場所をつくりたい！困窮者のニーズを把握し、公民館を活用した「子ども寺子屋」「カフェ」「など、『だべり場』『たまり場』などの、居場所づくりに取り組んでいます。

◆遠賀川中島河川敷と曲川源流の里の清掃



遠賀川のゴミの多さに驚き、昔の豊かな自然を取り戻し後世に残すため、清掃活動に取り組んでいます。
遠賀川河川敷のゴミ拾い

は、毎回ゴミ袋 3~6 袋。特にペットボトル、廃プラスチック、たばこの吸い殻。中には廃タイヤも。

講座を終えて：「無理なく楽しみながら」をモットーに息の長い活動をしていきたい。一人でも多くの方に活動に参加してほしい。

声：遠賀川の水質の悪さが全国ワースト 4 か 5 位というのに驚き、中間のシンボル遠賀川が綺麗になることを願います。

◆高齢者との交流

目の悪い自分が、自分の身の丈に合った活動で高齢者を笑顔にしたい！

高齢者施設へ電話や飛び込み訪問でアプローチしています。クリスマス会、誕生会、新年会などで、おしゃべりや歌を披露します。認知症の方が私の活動を覚えていたとか、反応の乏しい方が顔をあげて喜ばれたと聞き、笑顔づくりに成功したと感じています。高齢者には笑いが必要と実感、喜びややりがいを感じます。今後は公民館などにも活動を広げていきたいと思っています。★美空ひばりの「お前に惚れた」を熱唱されました♪

「目が不自由ですが、送迎があればどこへでも行きます。」ご紹介よろしく！

声：目が不自由でもボランティアで高齢者を楽しませたいという心意気に感動です。

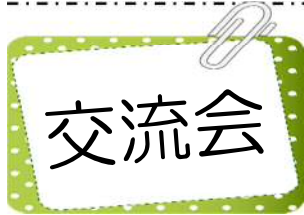


◆多世代の交流の場づくり



多世代が会える場・交流できる場・つながる場 「地域との出会い・若者の出会い・子育て、読み聞かせ・地域への恩返し」という思いを持った受講者がグループを作り、新しい取り組みを始めました。地域のつながりが希薄、子育て世代の応援をしたいという思いから、まず取り組んだのは垣生公園での親子のふれあい活動です。報告会では準備までの発表でしたが、数日後の開催日には募集人員よりも多くの参加があり、子どもも大人も積極的に楽しんで活動している様子や、親子同士のふれあいがみられるなど、予想以上の良い結果が得られていました。今後も年4回（春夏秋冬）実施を計画しているそうです。

講座を終えて：地元でしたいと思っていた活動が実現でき大変良かった。一緒に活動できる仲間と出会い、楽しく活動が出来そう。一緒に活動を進めていけたことが今後につながっていけると感じた。



～ 知り合う・つながる ～

出席していただいた方々（すでに活動をしている方・これからまちづくりに関わりたいと思っている方）と受講者が、意見交換・情報交換など交流を行いま



参加者からの声

- ・ 中間市の環境美化などの活動に努力して下さるみなさまに感謝します。
- ・ どれもいろんな取り組みを真剣にされていて、こういう方々の力で生活があるのだと感謝します。
- ・ 中間市でどのようなボランティアが行われているかを知る事ができ良い機会だった。多くの行政職員にこのような発表会を聴く機会を与えた方がいいと思う。
- ・ 講座を終えて今後どう展開していくか見ていきたい。
- ・ 現在北九州市と中間市でフードバンクのボランティアをしているので一緒に何かできればと思う。
- ・ 子ども達が自然にふれる大切さを感じた。
- ・ 交流の場があればとても良いことだと思った。
- ・ 目が不自由でもボランティアで高齢者を楽しませたいという心意気に感動した。

他、「興味深い企画だった」「地域の交流をもっとしたい」「みなさん楽しそう」「次世代に良い(美しい)故郷を残す活動だと感じた」などの感想もいただきました。

ボランティアセンターでは、講座終了後も活動継続のために、受講者のその後の活動について調査し、必要な情報提供や助言、広報誌や市HPなどで活動のPRなど、支援を行っていきます。

既存の団体も含めて、どのグループも『一緒に活動してくれる仲間』を募集しています。詳しく知りたい方、ちょっと参加してみようかなと思う方は、お気軽にボランティアセンターまでお問合せください。

◆◇ 中間市ボランティアセンター 中間市通谷一丁目 36 番 10 号（ハピネスなかま 1 階）◆◇
※ 日曜、月曜 休館 TEL: 093 (246) 2184

『多世代の交流の場づくり』グループが行った活動を紹介します！

平成 28 年 3 月 21 日 地域交流センター及び垣生公園

『親子であそぼうネイチャーゲーム』

開会式 地域交流センター(会議室)

スタッフの自己紹介の後、活動の流れ、ゲームの説明がありました。

パズルのように分割された4種類の動物の『絵合わせカード』を一枚ずつ持って、ゲーム開始！



「動物合わせ、1、2のドン！」
それぞれが持ったカードを見せ合って、同じ動物だと思う仲間を集めていきます。



出来上がった動物について、知っていることを言い合いました。知識の豊富なお父さんお母さんからの“うんちく”に「へ～！ そうなんだ～！」と盛り上がりました。



バンダナで目隠しした『コウモリ』役の子が、『ガ』役の子をつかまえます。「バット！」「モス！」と声をかけあい、声を頼りに、目隠し鬼のように円陣の中を駆け回りました(^o^)/

コウモリとガ



フィールドビンゴ

「桜の花、カマキリの卵、つくし…」春を感じられるものが書かれたビンゴカードを持って、公園内を探索しました。

絵本でほんごり
大型絵本「ぐりとぐら」の読み聞かせ。子どもはもちろん大人もゆったりとした気分で聞き入っていました。



自然の中で気持ち良かった！
又、参加したい！

わかちあい・閉会

参加された保護者と小学生の代表に感想を聞き、次回の連絡の後、解散しました。「楽しかったね！」活動を終えた親子の顔には笑顔の花が咲いていました♪

ネイチャーゲームは、みる・きく・触る・臭いをかぐなど、五感をひらいて自然を感じ、楽しむ自然体験プログラムで、今後も季節に合ったテーマで企画し、春夏秋冬年4回を計画しているそうです。「さらにバージョンアップして、子どもから高齢者まで、地域の様々な人たちが、出会える場・交流できる場・つながる場を作っていきたい。」と熱い思いのグループの皆さんです！

発行 / 中間市ボランティアセンター 電話 / 093(246)2184
住所 / 中間市通谷1丁目36番10号 (ハピネスなかま1階)